



Rotary Opens Opportunities

2020～2021 年度 国際ロータリーのテーマ  
**ロータリーは機会の扉を開く**

ホルガー・クナーター

篠原 徹

2020～2021 年度  
国際ロータリー会長

2020～2021 年度  
第 2670 地区ガバナー

**小松島ロータリークラブ**

例会日 毎週金曜日[12:30～13:30]

例会場 菊寿殿 おがわ 小松島市小松島町字外開 7-1  
TEL:0885-32-0205

事務局 小松島市金磯町 10-19 TEL:0885-33-1211

2020 年 8 月 28 日  
第 3361 回 例会記録

会員総数	22 名
出席会員	15 名
本日出席率	68.18 %
前回出席率	81.82 %

会長報告 (加藤好包) ●先週はガバナー公式来訪例会でした。本日は 8 月最後の例会となり、7・8 月の 2 ヶ月間が無事に過ぎました。9 月は、特別な予定はございません。

幹事報告 (青木正廣) ●報告事項がありました。  
●木村会員により、ガバナー公式来訪時の写真をいただきました。

委員会報告 ●会報雑誌・広報・IT 委員会  
梶原委員長：“ロータリーの友”9 月号が届いています。  
当クラブのホームページがリニューアルされました。

卓 話 以西会員：“中国の暗い歴史「文革」とは”  
●配布された資料は、次頁に掲載します。  
●日本との関係について：毛沢東は「日本共産党も修正主義打倒を正面から掲げろ」「日本でも文化大革命をやれ」と革命の輸出路線に基づく意見を述べただけに止まらず、この毛沢東の号令を合図に中国共産党と中国政府機関を動員した対日干渉が始まった。日本共産党は内政干渉として関係を断絶、激しい論争となった。その一方、日本共産党内から日本共産党路線に反対し、文革を賛美し、日本での文革引き写しの暴力革命持ち込みを掲げた分派が生まれ、発覚と同時に党から除名された。当時の日本において毛沢東思想が新左翼の一部で流行していた。山岳ベース事件やあさま山荘事件を起こした連合赤軍も武装蜂起、軍による遊撃戦争、農村による都市の包囲を謳い、「軍隊」による武装闘争を掲げたマオイスト集団であり、リーダーの永田洋子は遊撃戦の革命根拠地を求めて妙義山にアジトをつくり、委員長の森恒夫は「銃口から政権が生まれる」さながらに「銃による殲滅戦」を掲げ、拠点になる秘密基地を作るための関東の山岳地帯への移動を、毛沢東にならって「長征」と称すほどであった。  
●加藤会長：その当時、中国がこんなになるとは思ってもいなかった。一帯一路を標榜する経済大国?etc.・・・。

ニコニコ箱

